### 令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎·専門 別	単位数	選択・必修	開講年次• 時期
2 1 1 1 1	人間関係論 Theory of Human Relationship	竹重 幸	<	基礎	2	選択	2年後期

### 科目の概要

心理学の講義では、人間の多様性を理解し、さまざまな場面や組織のなかでの人間関係を構築できる思考や、人間関係のトラブルやストレスに対して解決・レジリエンス能力を養成します。日常に関わる人たちの心のはたらきを知ることは必要不可欠です。そこで、自己と他者のこころについて理解を深めることを目指します。①自分を知る②人間関係の構築について③人間関係におけるストレス対処について④働くということ(援助要請力)についてさまざまな心理学の分野から検討します。内容はみなさんの様子を見て進めますので、変更はあります。

V)	て、友父はめりより。		
	学修内容		到達目標
_		1	人間の心理に関する基礎的事項を説明できる。
2	カウンセリング理論および技法について学ぶ。	2	カウンセリング理論および技法を説明することができる
3	青年期の諸問題とその対応について学ぶ。	3	青年期の諸問題とその対応を説明することができる。
4	多様な場面での人間関係を築く大切さを知る。	4	自分と他者を生かす人間関係の築きかたを理解する。
(5)	人間関係のトラブルについて解決能力を養成する	(5)	人間関係のトラブルを理解し、解決能力を身につける。
6	社会人基礎力を養成する。	6	社会人基礎力を養成する。

	発揮させる社会人基 能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
	主体性	技術(学習)の習得のために自ら練習することができる。
前に踏み出す	働きかけ力	助けてほしいときに素直に他者に求めること、及び助けることができる。
カ	実行力	期限内に最後までやり遂げることができる。
	課題発見力	ものごとを客観的に捉える力と常に問題意識をもつことができる。
考え抜く力	計画力	常に期限内に課題を完成させる習慣を身につけることができる。
	創造力	オリジナリティな思考(発想)をもち、多角的なものの見方ができる。
	発信力	聞き手にわかりやすく伝えることができる。
	傾聴力	自己主張だけではなく、人の話を聴くことができる。
チームで働く	柔軟性	多様性を理解できること。異なる意見や価値観に対応することができる。
カ	情況把握力	自己の課題遂行のみではなく他者性になることができ、協同作業を円滑に進めることができる。
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	ストレスに対応する方法を知っている。

### テキスト及び参考文献

決定次第、通知します。

## 他科目との関連、資格との関連

学修上の助言	受講生とのルール
	30分以上の遅刻が2回で1回の欠席とします。期限内に課題提出することを徹底します。 (小テスト以上に課題提出を評価します)

# 【評価方法】

	評価 対象 評価方法		到達 目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学期末試験	筆記(レポ ート含む) 実技・口述試 験	<b>割合</b>	1 2 3 4 5 V 4 V	①人間の心理に関する基礎的事項を説明できる。 ②カウンセリング理論及び技法を説明することができる。 ③青年期の諸問題とその対応を説明することができる。 ④自己と他者を生かす人間関係の築きかたを理解する。 ⑤人問題係のトラブルを理解1 解決能力を身につける		
平常評価	レポート	5 0	1 v 2 v 3 4 5	①授業の振り返り ②次週授業の予習 ①②に関するレポートを提示します。 (内容は学生の理解度によって決定します)		
	成果発表 (プレゼン <del>テ</del> ション・作品 制作等)		2 3 4 5			
	社会人基礎力(学修態	10		② (実行力) 期限内に最後までやる遂げることができる ③ (課題発見力) ものごとを客観的に捉える力と探究心がある ④ (創造力) オリジナリティな思考(発想)をもち、多角的な		
	度)			⑥(傾聴力)人の話を聴くことができる。 ⑦(規律性)無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルーハ		
	試験 平常評価	字期末試験平常評価一実技・口験小レ成プョ作大大大大大大大生大大生大大大生大大生大生大大生大大生大生大生生大大生大生大生生大大生生生大生生生大生生生大生生生大生生生大生	子期末試験40上さい試験40ルテスト50レポート成プレン・作り成プレン・等)社会人学度社会人学度10	平常評価       40       3       40         東技・口述試験       40       2       ✓         ルテスト       40       3       ✓         ルテスト       50       0       ✓         成果発表       プレゼンテ・ション・作品制作等)       3       0         社会人基礎力(学修態度)       10       3       ✓         社会人基礎力(学修態度)       4       ✓         5       4       ✓         5       4       ✓         5       4       ✓         5       4       ✓         5       4       ✓         6       4       ✓         5       ✓       5		

【到達目標の基準】						
到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベル B (良) 及び C (可) の基準					
(S) 以下について9割以上理解できている。	(B) 以下について7割以上理解できている。					
(A) 以下について8割以上理解できている。	(C) 以下について 6割以上理解できている。					
②カウンセリング理論および技法を説明することできる ③青年期の諸問題とその対応を説明することができる。 ④自分と他者を生かす人間関係の築きかたを理解する。	①人間関係の心理に関する基礎的事項を説明できる ②カウンセリング理論および技法を説明することできる ③青年期の諸問題とその対応を説明することができる。 ④自分と他者を生かす人間関係の築きかたを理解する。 ⑤人間関係のトラブルを理解し、解決能力を身に着ける					

週	学修内容	授業の 実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習•復習	時間 (分)	1
1週	オリエンテーション 心理学とは		初回は理解度を図らな い。	予習:次回のテーマ について、テキスト を読み込む。 復習:毎回の課題を 提示する。 (提出)		課題発 見力 信力力 候体性 生 規律生
2週	性格と個人差の心理学 自己概念	講義	どうつくられるかを理解することができる	予習:次回のテーマ について、テキスト を読み込む。 復習:毎回の課題を 提示する。(提出)	180	課題発 見力信 見 発 順 主 体 性 大 大 は は 体 性 大 大 は は は は は は は は は は は は は は は は は
3週/	感覚・知覚・記憶	講義 ワーク	錯覚・感覚・知覚の加齢 による変化、記憶と忘却 について理解することが できる。	を読み込む。		課題発 見力信力 程下 東体性 東体性 規
4週/	発達心理学①	講義 ワーク	までの発達課題につい て理解することができ	予習:次回のテーマ について、テキスト を読み込む。 復習:毎回の課題を 提示する。(提出)		課題発 見力信力 候職力 主体性 東律性
5週/	発達心理学②	講義 ワーク	発達障害について理解す ることができる。	予習:次回のテーマ について、テキスト を読み込む。 復習:毎回の課題を 提示する。 (提出)	180	課題発 見力 発信 動力 主体性 主体性性
6週	社会的行動の心理学①	講義 ワーク 小テスト(予定)	$1 \subset \mathcal{M} \subset \mathcal{A} \otimes_{\alpha}$	について、テキスト	180	課題発見力 発信力 領地 大大 原本性 規律性
7 週 /	社会的行動の心理学②	講義 ワーク	らう意味について理解することができる。	予習:次回のテーマ について、テキスト を読み込む。 復習:毎回の課題を 提示する。(提出)	1100	課題発見 見 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別
8週	社会的行動の心理学③	講義 ワーク	心理について理解する ことができる。	予習:次回のテーマ について、テキスト を読み込む。 復習:毎回の課題を 提示する。 (提出)	180	課題発 見力信 原体性 規 主 は は は は は は は は は は は は は は は は は は

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 ストレスコントロール力

情況把握力 規律性

週	学修内容	授業の 実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習•復習	時間 (分)	
9週	行動と学習	講義ワーク	7 (10: 0: 2 2 2 3 ) 0: 11	予習:次回のテーマ について、テキスト を読み込む。 復習:毎回の課題を 提示する。 (提出)	180	課見力 見 見 発信 動 力 力 力 大 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性
10 週	臨床心理学①	講義ワーク	することができる。	予習:次回のテーマ について、テキスト を読み込む。 復習:毎回の課題を 提示する。(提出)	180	課 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 信 恵 力 上 は 性 性
11 週	臨床心理学②	講義ワーク	することができる。	予習:次回のテーマ について、テキスト を読み込む。 復習:毎回の課題を 提示する。 (提出)	180	課題力 見分信 見 見 見 見 に は 体 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性
12 週	臨床心理学③	講義ワーク	7.47.174.124	予習:次回のテーマ について、テキスト を読み込む。 復習:毎回の課題を 提示する。 (提出)	180	課題 見力 見信 力力 は 体性 性 性性
13 週	精神保健学	講義ワーク	2 3. 2 3. 3. 11,117 7.2	予習:次回のテーマ について、テキスト を読み込む。 復習:毎回の課題を 提示する。 (提出)	180	課見力 題力 見 見 所 に は 体 性 性 性 性 性 性
14 週	生きること/死をめぐる心 理臨床	講義 ワーク 小テスト (予定)	生まれない命、死の受容について理解することができる。	予習:次回のテーマ について、テキスト を読み込む。 復習:毎回の課題を 提示する。 (提出)	180	課 見 発 順 主 規 是 発 便 主 規 生 体 性 性
/	まとめ	講義 ワーク 小テスト またカ <sup>無 顕 双</sup>	まとめと小テスト	予習:次回のテーマ について、テキスト を読み込む。 復習:毎回の課題を 提示する。(提出)	100	課見力信聴体性 性